



ハッピータイム・  
ジャム・コンサート

3月12日、大蔵小の体育館で、ハッピータイム・ジャム・コンサート・イン大蔵が行われました。

これは、大蔵地区文化を高める会の主催で、文化活動を通して生涯にわたって学び続ける意欲と人間性豊かな情操を養おうと、今年初めて行われたもので、800人ほどが詰め掛けました。

香長中音楽部の迫力ある演奏で幕が開いた舞台は、保育園児や小学生、市内外の合唱団など12組の発表があり、訪れたお客さんを喜ばせていました。



南国市連合婦人会（島内瑞枝会長）の学習の一環として行われている市政会議が2月25日、11地区から45人の会員が出席して開催されました。

島内会長が「33年の歴史は長く、男女平等から女性の社会参画、環境美化、昨年の文化会館の建設など提案してまいりましたが、現実には厳しく夢はなかなか実現しません。しかし21世紀に望み着実な活動を進めてまいります」とあいさつしたあと、市長ら市執行部を相手に、共立（ともだち）社会の実現、山間地の活性化、また、ごみ減量とリサイクルなど7議案について本会議並みの論議を展開しました。

女性の目で市政へ提案



3月8日、ホリディイン高知で中央高齢者教室（鈴江広幸学級長）の20周年を祝う記念式典が行われました。

同教室は昭和49年に開始し、以来月1回のペースで学習したり、移動教室で見聞を広めたりと活動を続けてきました。現在学級生は202人で、市内5教室の中でも1番の大所帯です。

式には50人余りが出席、鈴江学級長が「人生80年時代。長くなった老後、どのような生きがいを見つけるかが重要です。この教室の果たす役割は大きくなるでしょう」とあいさつしたあと、功労者の表彰やアトラクションがあり、参加者は思い出話に花を咲かせていました。

二十年の思い出

大きな声で

「火の用心」

春の全国火災予防運動期間中の3月4日、吾岡保育園の「幼年消防クラブ」による防火パレードが行われました。



これは、同保育園が火災予防期間中に毎年実施しているもので、今回は年長・年中組の園児32人が参加。消防職員に引率された園児たちは、太鼓やシンバルを鳴らしながら、市消防署前から市内量販店までパレード、「火の用心」と大きな声で市民らに防火を訴えました。

▶3月6日、舟入川・新川・藻川で一斉清掃が行われました。約1時間の作業で、川は見違えるほどきれいになりました。



▲2月27日、市民体育館で行われた土佐はし拳全日本選手権南国場所に87チーム、261人が参加、熱戦をくりひろげました。



▲3月2日、ホリディイン高知で明るい社会づくりをめざして、南国市更生保護大会が開かれました。

▼3月4日、市役所大会議室で中学校卒業後就職する28人を励ます会が行われました。皆さん頑張って、



▲3月14日、安田火災海上、安田生命より、新一年生に交通安全の黄色いワッペンがプレゼントされ、代表のフレンド幼稚園児5人が受け取りました。



▲青少年の心身鍛錬や地域おこしを目的とし、毎年恒例の蔵福寺巻祭り剣道大会が2月20日に行われました。いあいやなぎなたの演舞の後、紅白にわかれて野試合を行いました。

▼2月20日、十市小で親子音楽会が開かれました。ママさんコーラスや高知大学交響楽団のすばらしい演奏に、訪れた保護者の方や子どもたちは聞き入っていました。



▲2月18日、南国市子ども会連合会のキャラバン隊が、市内の各小学校で手作りの人形劇を披露。子どもたちは楽しそうに見ていました。

▶2月22日、妊婦さんを対象にした「これからママの裏い」が行われ、9人が参加。妊娠中の過ごし方などを学び、歯の健康チェックをしました。



▶大湊から出港した記念之を記念して2月10日、土佐3記大湊出港記念祭が行われました。この日はあいにくの雨だったものの、80人ほどが参加し祝いました。

